

| | |
|------------------|---|
| Title | 表紙 目次 |
| Sub Title | |
| Author | |
| Publisher | 慶應義塾経済学会 |
| Publication year | 1960 |
| Jtitle | 三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.53, No.4 (1960. 4) |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | |
| Genre | |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19600401--001 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾経済学会

三田学会雑誌

1960年 4月号

論 説

- 農業恐慌と独占資本主義の確立……………常盤政治 1
 ——「一九世紀末農業恐慌」克服の条件と
 二〇世紀初葉の経済恐慌の性格——
 マルクスの相対的過剰人口論
 にかんする一考察……………井村喜代子 38

資 料

- 我が国における需要予測の現状……………佐藤保 68
 ——日本生産性本部需要予測研究会の推定——

学 界 展 望

- 我が国における「社会主義制度下の
 商品生産と価値法則」論……………平野絢子 88

書 評

- R. M. フォックス著『ジム・ラーキン』……………飯田 鼎 94
 エムリス・ヒューズ著『ケーア・ハーディ』
 ラーヤ・ドウナイエフスカヤ『マルクス主義と自由
 ——一七七六年から今日まで』……………野地洋行 100

新刊紹介

53巻 **4** 号

昭和三十五年三月二十四日
 第三種郵便物認可
 発行所 三田学会雑誌
 毎月一、九〇三行

三田学会雑誌

昭和三十五年三月号

定価 金九〇円 (送料別)

MITA GAKKAI ZASSHI

(Mita Journal of Economics)

Vol. 53, No. 3

March, 1960

CONTENTS

- Field Theory in Economic Psychology…………… M. Chubachi (1) ^{page}
 A Study on the Development of the Modern
 Natural Law (1)…………… H. Noji (26)
 Investment Policy in Notionalised Industry…………… N. Maruo (42)
 Forms of the Differentiation of Small Businesses
 in Recent Japanese Fishery…………… R. Takayama (60)
 Reviews and Notes

Published for
KEIO-GIJUKU KEIZAI GAKKAI
 (The Keio Economic Society)
 Editorial communications to be sent to
 the Editor, Keio-Gijuku Keizai Gakkai,
 Keio-Gijuku University,
 Mita, Minato-ku, Tokyo, Japan.
 Price 90 yen

新刊紹介

| | | |
|---------------------------|-------|-----|
| 『近代日本思想史講座』…………… | 島崎隆夫 | 106 |
| A. C. L. デイ著『貨幣の経済学』…………… | 村井俊雄 | 106 |
| 地方史研究協議会編『日本産業史大系』…………… | 尾城太郎丸 | 107 |
| 平井新著『社会思想史研究』…………… | 白井厚 | 108 |
| 高村象平著『ドイツ・ハンザの研究』…………… | 渡辺国広 | 109 |

農業恐慌と独占資本主義の確立

——「一九世紀末農業恐慌」克服の条件と二〇世紀初葉の経済恐慌の性格——

常盤政治

まえがき

一 「一九世紀末農業恐慌」からの脱却について

I アメリカ農業の「圧迫作用」解消説の検討

II 農業内部における恐慌への対応過程と農産物需要の増大

二 独占資本主義段階の成立

I いわゆる「大不況」期の終焉とその基盤

II 一八九〇年代後半の経済的昂揚

III 独占資本主義の確立期における経済的発展の形態

三 二〇世紀初葉の経済恐慌の性格

I 一九〇〇—一九〇三年恐慌

II 新興資本主義国の経済的発展と一九〇七年恐慌

III 一九〇七年恐慌後における世界資本主義の経済的発展の性格

IV 「農業恐慌」は何故発生しなかったか

農業恐慌と独占資本主義の確立

まえがき

本稿の目的は、「一九世紀末農業恐慌」からの脱却は如何なる条件に基づくものであり、二〇世紀の初葉（第一次大戦勃発までの時期）においては何故「農業恐慌」が起らなかったかを明らかにしようとするにある。

さきに、われわれは「一九世紀末農業恐慌」が如何なる性格のものであったかを考察した。ここでは、一般に「一九世紀末農業恐慌」といわれているものは一九世紀第四・四半期に起ったいくつかの全般的過剰生産恐慌を構成する循環性農業恐慌の総称として理解すべきであり、二〇年間も持続した一つの「長期農業恐慌」とすべきでないことが論じられた。「一九世紀末農業恐慌」が一つの「長期農業恐慌」としてみえたのは、「第一に、農産物世界市場の本格的形成によって、地代なきアメリカ農産物の生産価格が世界農産物の市場